

ドライバーの安全&働きやすさに全力で向き合いたい

～中津川で創業70年余、貨物の貸切・小口輸送、預かり等を担う～



中津貨物自動車 株式会社

代表取締役社長

郷原 基幸氏

- 住 所：中津川市茄子川112番地11
- T E L：0573-78-1255
- U R L：<https://www.nakatsukamotsu.com/>
- 事業内容：一般貨物自動車運送事業、特別積合せ自動車運送事業、自動車整備事業（钣金・塗装）、あいおいニッセイ同和損害保険（株）代理店
- 従業員数：61人

■ 創業時の仕事は木曾の材木運搬

聞き手：まず御社の歴史からお聞かせください。

郷原社長：創業は1950年（昭和25年）2月です。戦後間もなくの頃、木曾谷方面から祖父がこちらに移り住み、当時の住宅事情で木材が必要だということで、木曾や加子母の材木運搬を生業としてスタートしました。

当時、中津川には木曾谷から多くの人が移住していました。最初はその仲間たちと協力し合っていたわけですが、その後高度経済成長期に入り、材木だけでなく商業貨物もかなり増えてきました。地元で集めた荷物を貨物列車に積み込み全国発送し、逆に到着した貨物をトラックで県内に輸送するという仕事を担っていました。

そのうち、モータリゼーションの上昇機運が到来し、道路事情も良くなってきて、高速道路等を使った輸送が主となり現在に至る、というところですね。現在は倉庫への預かりや入出庫の仕事も増えてきています。

聞き手：今年は物流業界の「2024年問題」が大きく注目されました。働き方改革の一環である一方、「以前は稼げたドライバーが稼げなくなった」とも聞きます。

郷原社長：ドライバーの残業時間数などについては、それまでも業界では取り組みが進められてきたので、個人的には「これ以上あまり厳しくしすぎるのも…」という想いが正直なところありました。とはいえ、決まったことは守らないといけません。運賃交渉を行うことで、働く時間数が減ったドライバーに対し、その賃金を以前のベースに近づけたいと思うものの…という状況です。

業界としては、（公社）全日本トラック協会から政府に進言をするなど改善が進んではいますが、それでも、配送にかかる運賃については、まだまだ“十分に支払ってもらえている”とは言えない状況だと思っています。他にも、例えば荷待ち時間が発生する問題は、集配先の工場内での待機が減ったとしても別の場所で待機をしていたりと、根本的な解決には至っていません。

聞き手：人材の流出という問題もあるのでしょうか。

郷原社長：当社はおかげさまで、他社へ移る人はいなかったのですが、やはり走る時間も荷物の数量も少なくなれば、給料の良いところへ転職したいと考えるのは当然だろうと思います。また今の東濃エリアでは、同業他社ではなく、製造業の工場などへ転職するケースが増えているようにも感じています。

■ このままでは物流が麻痺してしまう？

聞き手：製造業は「将来的に仕事なくなる」と言われることがありますが、物流は絶対なくならないと思います。もちろん、働き方の改善も大事です。DXやIoTなどへの取り組みはいかがでしょうか。

郷原社長：運行管理のためのタコグラフがデジタル化したのはもうずいぶん前ですが、荷物を積むのも下ろすのも人の手が必要なのは今も同じです。省力化の面ではパレットの活用がありますね。

岐阜県トラック協会では加盟企業に求車や求貨を知ら



【寄贈した車】

コロナ禍では大変苦勞した消防署員の皆さんの講習会等の移動手段として、70周年の記念として車を寄贈しました。

【作業風景】

お客様の大切な製品を全国小口配送や、貸切輸送、営業倉庫にて入出庫の管理も行っています。

せる「KIT」という仕組みがありますが、今後はそういった業界を通じた取り組みがもっと緻密になっていくのかなとは思っています。あとは自動運転がどこまで発展していくのか。それが機能するようになっていけば、別の部分に人材を振り分けることができます。

当社では倉庫業務にも力を入れているところで、倉庫内の自動化ももっと注目されていくだろうと思います。ただ、コストがかなりかかるので、預かる際の料金にどこまで転嫁できるのが課題だと言えます。

よく報道等で「2024年問題で物流コストが高騰し、物の値段が上がり…」というような表現がされるのですが、実際は思うように上がっていません。一方で、このままでは2030年までに現在の物量の約30%が運べなくなるというデータも出ていますが、そんな状況がもっと早い時期に到来するかもしれません。それこそ、今回の施策で「いっそ物流が麻痺してしまえば、本当の大変さに皆が気付く、状況が大きく変わるのでは」と内心考えた経営者も多いのではないかと考えてしまいます。

聞き手: 確かに、普段便利に利用している物流サービスも、荷物を動かすのは人であり、その人たちへの教育なんですよ。人材の採用や教育についてはいかがですか。

郷原社長: 募集は絶えずしていますが、やはり選んでもらえないのが現状ですね。高校卒人材はそれこそ全くで、現行社員からの紹介が主となっています。今いる社員を今後どうつなぎとめていくのか。人の問題は本当に大きくて厳しいですね。

社内では、お互いが助け合えるような社風を作ることとずっと心掛けています。今は一人1台スマホを持たせていて、細かい指示や配車状況はメールで流します。社員同士はLINEグループで渋滞や事故などの道路情報をやり取りしているようです。

それから、社員旅行等に泊まりで行くことは難しいので、夏にある花火大会に、社員とその家族、友達に集まってもらっています。コロナ禍前までは、バーベキューで皆に肉を振る舞っていましたね。

■ ドライバーの安全・安心のために

聞き手: ちなみに、御社に対する私のイメージは「新しい車が多い」ことですね。

郷原社長: 社員から要求が出るものにはできるだけ投資をしています。トラックのフルエアサスは東濃で一番に導入

しましたし、待機時にエンジンを切っても過ごしやすいように、蓄冷式のクーラーや欧州のキャンピングカーに使われるヒーターを採用したり。ナビや緊急ブレーキシステム、荷物を保護する道具も含め、ドライバーが精神的に安心・安定して仕事ができるように配慮しています。大型洗車機も自社内に設置していますし、安全の為に出来る限りの設備投資等は、今後も続けて行きます。

聞き手: やはり安全への配慮は必須ですからね。

郷原社長: タイヤ交換も自社でやっています。タイヤを外すと普段は見えない部分も見えてきます。ドライバーには自分の乗る車がどういう状態なのか、きちんと理解した上でメンテナンスしてもらいます。

ただ、タイヤの空気充填には資格が要ります。そこでトラック協会の支部活動でタイヤメーカーの講習を行ったりして、人材を育成することにも努めています。

聞き手: 地域への貢献にも力を入れておられますね。

郷原社長: デリバリー 地元への個別配送業務こそ断腸の思いで辞めましたが、消防署に車を寄贈したり、地元のお祭りにトラックを無償でお貸ししたり。あとは災害が起きた際の物資運搬にはいち早く駆けつけたりしています。

時代が変わり、子どもに「後を継がせたくない」と思う経営者もいる業界です。今後、人の問題ではもっと苦勞するかもしれません。当社も息子が戻ってきてくれるのですが、彼らが自分たちの時代に合わせて、業種転換も含めて考えていってくれたらと思いますね。

聞き手: 最後になりましたが、趣味や休日の過ごし方についてはいかがですか。

郷原社長: 趣味は車とゴルフかな。“頑張って働いて良い車に乗りたい”という世代です。じっくり考え事をしたりリフレッシュしたりするのは、ドライブしている時が多いように思います。仕事は…「生涯の友達」ですね。

聞き手: 本日は貴重なお話をありがとうございました。

聞き手 (一社)岐阜県経営者協会 広報部会委員

中津紙工(株)

代表取締役社長 酒井 敏孝

経協ニュース

第25回幹事会・講演会を開催

11月19日(火)、都ホテル 岐阜長良川において、第25回幹事会を開催しました。

山口 嘉彦会長による開会挨拶の後、安藤 正弘専務理事より、令和6年度上期事業報告および下期事業計画、収支中間報告について説明し、ご承認をいただきました。

続く特別講演会では、「ヤマサちくわの副業人材受け入れプロジェクト」と題して、蔵野 泰輔 氏(ヤマサちくわ(株) 専務取締役)よりご講話いただきました。

今後の新たな人材活用を考えるうえで、副業・兼業の可能性を改めて認識させていただく講演内容でした。



山口嘉彦 会長



講師：蔵野泰輔 氏

愛岐留学生就職支援コンソーシアム 岐阜地区ワークショップを開催

10月30日(水)岐阜大学において、岐阜大学、岐阜県、ジェトロ岐阜、岐阜県経営者協会の4機関共催により実施し、企業11社、留学生19人のご参加をいただきました。

第1部は東海圏における高度外国人材の活用に向けてと題しての講演の後、第2部は企業と留学生の対面による交流会を行い、各社の事業概要や留学生の活躍状況等について交流が行われました。

交流会では、各社から事業概要や留学生の活躍状況等について説明があり、留学生は熱心に複数のブースを訪問していました。



教育部会 中間報告会を開催

10月30日(水)グランヴェール岐山において、水谷教育部会長(株)文溪堂 社長)はじめ会員企業より14人(内リモート参加10人)の教育部会委員にご参加いただき、当協会主催の集合講座をはじめとした教育事業について、2024年度の中間報告を行いました。

事務局より進捗状況について報告を行った後、委員の皆さまよりご意見をいただきました。



中部大学共催「学内合同企業セミナー」を開催

11月15日(金)中部大学と共催で、2026年3月以降に卒業予定の学生さんを対象とした企業説明会を対面形式にて開催し、企業14社、学生約25名にご参加頂きました。

当日は開催時間内であれば自由に各ブースを訪問できる形式で実施しましたが、参加した学生は積極的に多くのブースを訪問し、企業人事担当者と活発に交流を行いました。



改正育児・介護休業法への各種対策セミナーを開催

10月29日(火)会場とオンラインでのハイブリッド形式にて開催し、105名(会場18名、WEB 87名)にご参加いただきました。

講師には、三宅社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士 高木 万里子氏をお迎えし、テーマを「改正育児・介護休業法への各種対策セミナー」と題してお話いただきました。

岐阜支部



退職者による営業秘密持出事案の「有事対応」と「事前予防」を開催

中濃支部

11月6日(水)オンラインにて開催し会員企業より29社32人の方にご参加いただきました。

講師に、弁護士法人はくと総合法律事務所 弁護士 金子 恭介氏をお迎えし、転職などによる人材の流動化が多くなっていくと予測される昨今において、営業情報、技術情報などの流出時の有事対応や事前防衛について解説していただきました。



支部役員会を開催 各務原支部

11月7日(木)かとれあくらぶにおいて各務原支部役員会を開催しました。

開会にあたり柳原 幸一支部長(株)鶴飼 会長)よりご挨拶をいただいた後、事務局より2024年度上半期事業報告及び中間収支報告について、2024年度下半期事業計画及び収支予算について説明がありました。

総会終了後には、同会場にて親睦会(情報交換会)を開催し、会員同士で親睦を深めました。



「飛騨支部 管理・監督者養成講座」を開催 飛騨支部

11月20日(水)～21日(木) 飛騨・世界生活文化センターにおいて、毎年1回有志企業6社の人事担当者による手づくり講座として開催しており、今回は飛騨地区の企業12社より23名の職場のリーダーおよび候補者の方にご参加いただきました。

受講者と講師が一緒になって考えることをモットーとしており、職場のチームワークを発揮するためのリーダーシップや上司・部下とのコミュニケーションについて、ゲーム形式のワークショップやグループ討議を通じ、体験と意見交換を行うことで、理解を深めていただきました。



開催案内

●管理職のためのハラスメント研修 東濃支部

- 日 時** 12月23日(月) 13:30～16:00
- 会 場** 多治見商工会議所 会議室(多治見市新町1-23)
- 講 師** グッドライフ設計塾 代表 菅田 芳恵氏
- 費 用** 無料 ※東濃支部 会員企業限定のセミナーとなります。

●改正育児・介護休業法への各種対策について 中濃支部

- 日 時** 1月27日(月) 14:00～15:30
- 会 場** アピセ・関 第一会議室(関市平和通7-5-1)
- 講 師** 三宅社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士 高木 万理子氏
- 費 用** 無料

新規会員のご紹介

岐阜支部

■株式会社トライフィット

設 立 2001年8月8日
所 在 地 岐阜市神田町6-16-2
代 表 者 代表取締役 渡邊 好唯
事業内容 ・人材派遣
・経営コンサルタント



人と経営 12月号

(第73巻12号通巻567号) (2024年12月1日発行)

■編集発行人

広報部会長 堀 部 友 里

■発行所

一般社団法人 岐阜県経営者協会

〒500-8833 岐阜市神田町2-2 TEL 058-266-1151 URL <https://gifukeikyo.org/>

■印刷・製本

株式会社印刷工房 〒501-0597 岐阜県揖斐郡大野町下磯750-1 TEL 0585-36-0201